
THROTTLE CONTROLLER

Performance & Technology



INSTALLATION MANUAL

BLITZ

— 安全上のご注意 —

製品を安全にご使用いただくために『安全上のご注意』を良くお読みになってください。
表示項目の説明（シグナルワードとその意味！）



危険

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

□必ずお読みになり、よくご理解ください。

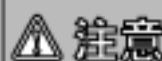
- ・本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開ける事で体感的なパワーやスタートダッシュの軽快感などが得られますが実際の最大出力が向上するものではありません。また、体感的な部分には個人差がありますことをご了承ください。
- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付け
ないでください。
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・本製品は、車両電源がDC12V車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。
- ・本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社
までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

・LCD液晶表示画面について

装着場所や見る角度（主に下側から見た場合）によって文字が見えにくくなる事がありますが、LCD液晶の特性によるもので異常ではございません。
この場合は装着位置を変更してください。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車輻装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
- ・本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良を起こし、車輻を破損する恐れがあります。
- ・液晶表示本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。
60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊される事があります。
- ・本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。
- ・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- ・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・本製品は純正車両を前提に企画されております。
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。

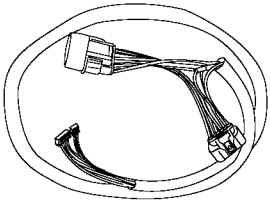
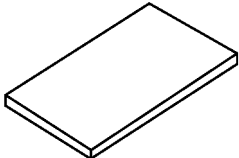
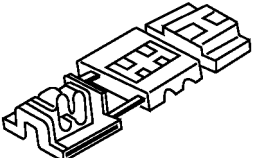
**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・運転者は走行中における本製品の操作はしないでください。
運転中の表示の注視やスイッチ操作は事故に繋がる可能性があるため大変危険です。
- ・コントローラーや本体の装着場所は運転の妨げにならない場所へ、しっかりと固定してください。
アクセルセンサー付近の配線処理などは注意を怠りますと、突然のエンジン不調やアクセル操作の邪魔になるなど大変危険です。
- ・本製品は純正電子スロットルの制御を目的に製作されていますので配線の接続方法ならびに使用方法を間違えると車両側の不調・破損・事故など致命的な問題が発生する恐れがあります。
接続取り付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いいたします。ご自身で取り付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
- ・走行中に車輻及び製品より異音・振動・異臭等の異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して専門業者にて点検・整備を行ってください。
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり大変危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。
- ・本製品の装着により製品、及び車輻本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
そのままの状態で行くと、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。
- ・本製品の分解や改造は一切行わないでください。
車両破損・事故につながるだけでなく生命の危機に陥る恐れもあり危険です。また、そのような場合でも弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

パーツリスト

(製品装着前に必ずご確認ください)

							
コントローラー	1	本体ユニット	1	センサー・青(赤)ハーネス	各 1	スプレー	1
							
両面テープ 大・小	2	エレクトロタップ	1	タイラップ	4	取扱説明書・保証書	各 1

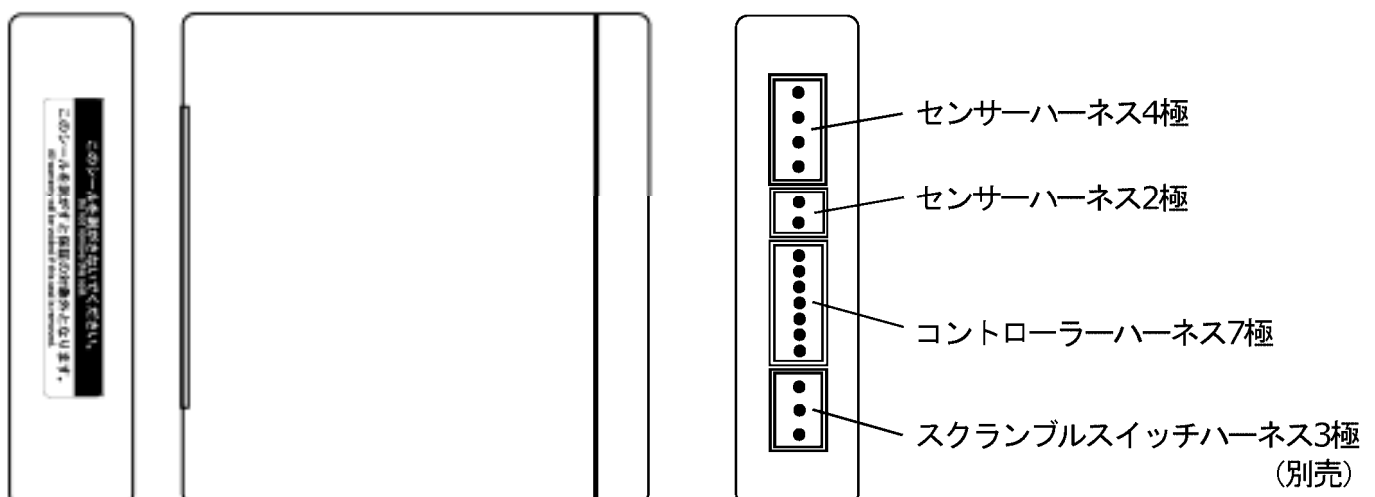
※ (赤)の延長ハーネスはTRC003Pの商品のみ同梱となります。

— 各部の名称と機能 —

コントローラー：



本体ユニット：



— 取り付け手順と方法 —

■取り付け上のご注意

※本製品はDC 12 V車両専用です。DC 24 V車や12 V仕様車以外の車両には取り付けを行わないでください。火災や車両破損の原因となり大変危険です。

※アクセルコネクタの取り外し作業はイグニッションキーをOFFしてから15分以上経過してから行ってください。

※従来品の専用センサーハーネスは仕様が異なる場合がありますので、必ず同梱されている物をご使用ください。

※電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には十分注意し慎重に作業をおこなってください。

※接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。

この場合専用機器しかエンジンチェックの点灯を消せないことがあります。十分注意して作業をおこなってください。

※取り付け作業の際は必ずキースイッチを抜いて15分以上は作業を行わないでください。

またスマートエントリーシステムなどの場合はキーを認識しない場所に離して作業してください。

車両側がキーの存在を認識して自動的に電源が入り、そのまま作業をしてセンサーコネクタを抜くと車両故障とみなされエラー信号が入り、エンジンがフェールセーフモードに入ってしまう恐れがあります。

※車両によっては専用の故障診断機を使用しなければエラーコードが解除されない場合がありますので十分注意してください。



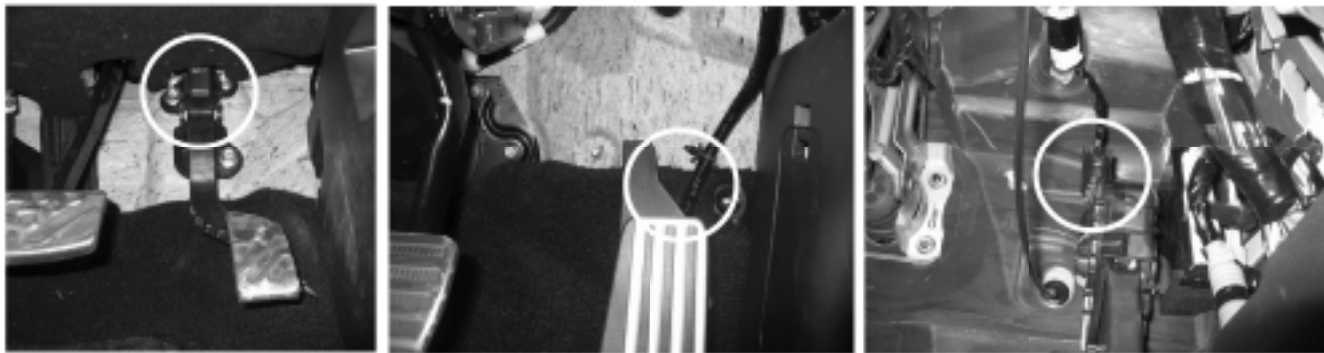
注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・取り付け作業は基本的にバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外した場合にアイドリング学習などが必要になる場合があります。
- ・本作業は精密電子部品である電子制御スロットルの制御にかかわる部分です。接続位置や接触、逆挿し、接触不良等には十分注意し慎重に行ってください。
- ・接触不良や間違った接続をした場合、正常にエンジンが吹け上がらない、エンジンチェックランプの点灯などの症状が発生します。この場合も前述同様専用の故障診断機を使用しなければ消灯させることができない場合がありますので十分注意し、よく理解した上で作業を行ってください。

(1) 運転席足元アクセルポジションセンサーの位置を確認します。

アクセルポジションセンサーは通常アクセルペダルの根元付近にあります。(一部車種除く) カバーの裏などで隠れていて直接目視できない場合がありますので注意して探してください。



上記の白丸部がセンサーです。同梱のハーネスに付いているコネクタの形状と見比べて形状が違う場合は装着できません。形状が異なっているにも関わらず無理に装着しないでください。



【注意】品番14712：TRC001P-BF2を装着される場合の注意点

品番14712に適合する車両は、エンジンルーム内にアクセルポジションセンサーがあり、左図のようにマスターバック付近に固定されています。室内からエンジンルームセンサーまではワイヤーで繋がっており、この部分にBF2センサーハーネスを接続し、サービスホールを使用して室内へハーネスを引き込み、本体ユニットへ接続してください。

(2) アクセルセンサーのコネクターを外します。

初めてコネクターを脱着する場合非常に固く外れない場合があります。ドライヤーなどで適度に温め、やわらかくしてから外してください。工具などで無理に外そうとすると破損する恐れがありますのでお止めください。

(3) 専用センサコネクターを取り付けます。

BA1タイプのコネクター以外は次のように行ってください。

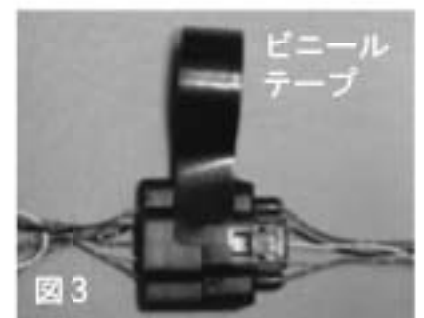
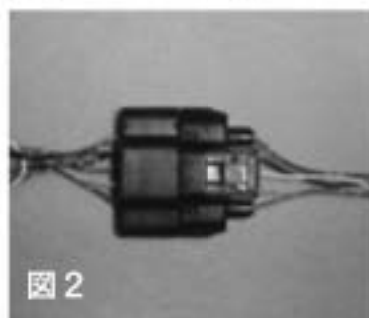
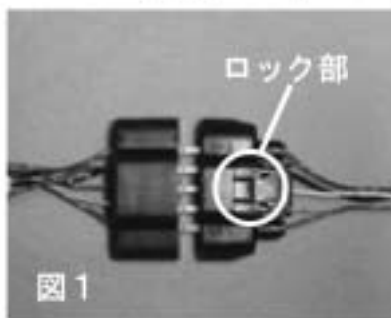
センサー側、車両側、それぞれコネクターを装着してください。

※ゴム製のコネクターは表裏の違いに注意してください。(図1、図2参照)

赤いコーションステッカーの貼ってある面と車両側コネクターのロック部分(ツメ)を合わせて装着してください。

※ゴム製のコネクターにはロックがありません。必ず図3のように絶縁性のビニールテープ等でテーピングして固定してください。

※コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。必ずコーションステッカーの面に注意して間違いの無いように作業を行ってください。



BA1タイプのコネクターは次の①～④の内容に注意して下さい。

①車両側のコネクターの防水ゴムを必ず外してから装着してください。(図4、図5)

外さないまま装着した場合、接触不良もしくはエンジン警告灯が点灯します。

②BA1タイプのコネクターは特殊形状の為に表裏が判別しにくいです。

その為コネクターに貼ってある赤いコーションシールを目安にして確実に装着してください。

前述同様ロック部を合わせます。

③BA1タイプのコネクターは特殊形状の為にロック部分が完全に吻合しません。(図6)

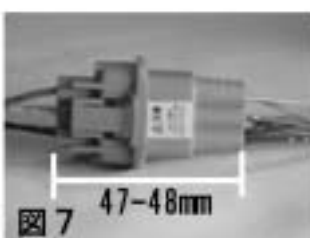
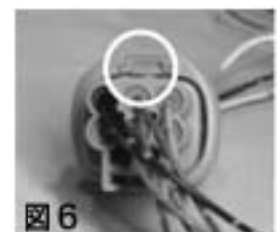
④BA1コネクターを装着した場合の寸法はおおよそ47mm～48mmになります。(図7)

※装着後必ずビニールテープ等で固定してください。(図8)

※コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。

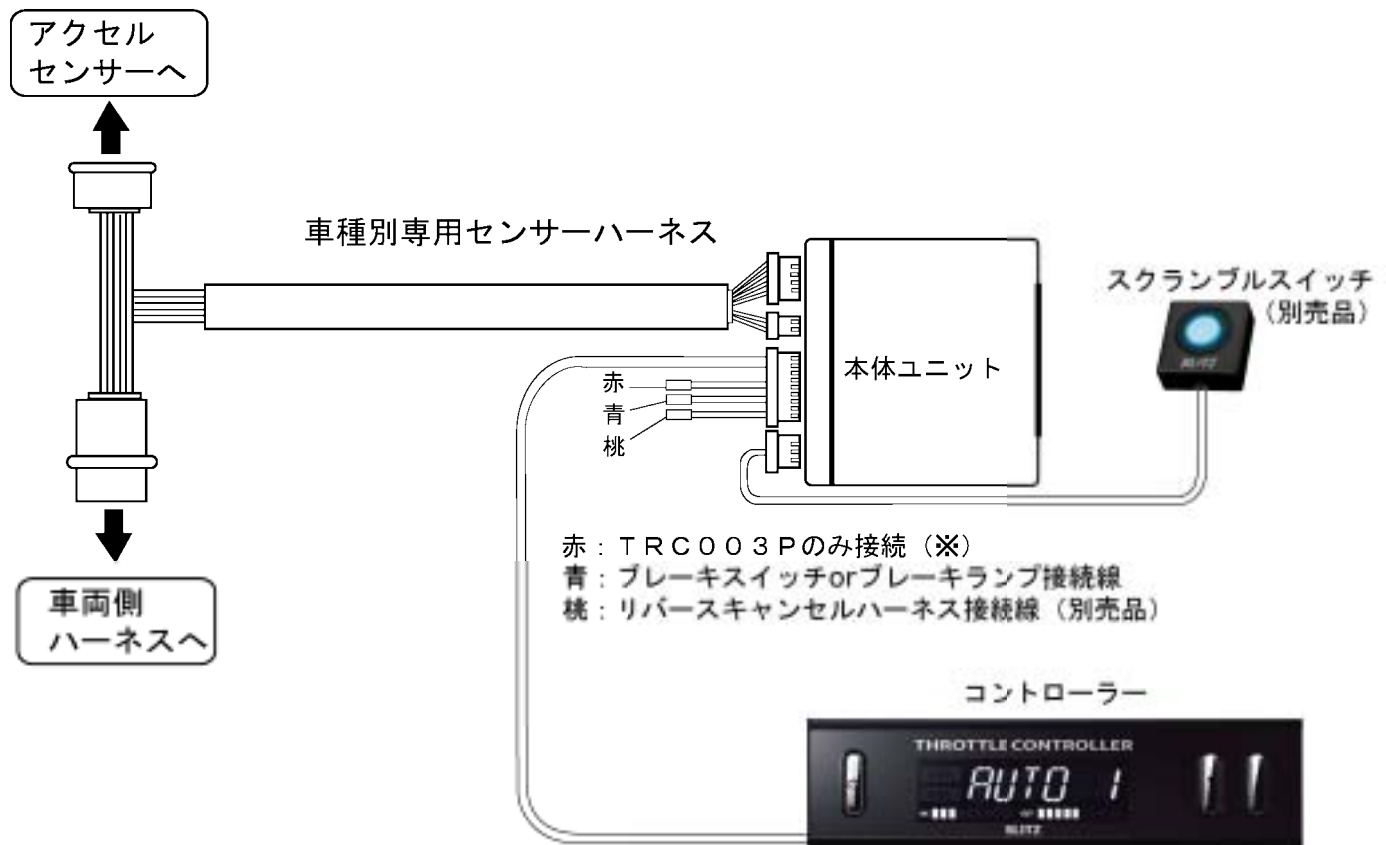
必ずコーションステッカーの面に注意して間違いの無いように作業を行ってください。

※BP1コネクターは下側の穴にピンをさしてください。(図9)



(4) 本体ユニット、コントローラーの装着

【接続図】



注意！ アクセルペダルと配線、本体ユニット等が接触する状態は大変危険です。細心の注意をはらってください。
エンジン停止後15分以上経過してから作業を開始してください。エンジンチェック点灯の原因となる場合があります

- ①専用ハーネスの2極と4極コネクタを本体ユニットへ確実に差し込んでください。
- ②コントローラーからの7極コネクタを本体ユニットに確実に差し込んでください。
- ③7極コネクタから出ている青線をブレーキを踏んだ時に+12V発生する配線へ接続してください。
 - *ブレーキペダルセンサー線（+12V側）もしくはブレーキランプ線（+12V側）等に接続してください。
 - *接続は付属のエレクトロタップもしくはハンダ付け等にて確実にこなしてください。
 - *車内のヒューズ、リレー等にも+12Vが取り出せる車両があります。
 - *トヨタ車は青色線を使用している場合があります。（参考）
 - *青線を接続しない場合は、オートモード（AUTO#）が使用できませんが、固定モード（ECO#～SPORT#）は作動します。
- ④7極カプラーより出ている桃線はリバースキャンセルの配線です。
 - *このシステムを利用するには別売のリバースキャンセルハーネス（Code No：14879）が必要です。
- ⑤運転の操作の妨げにならぬよう、本体ユニットを固定し配線をまとめてください。
 - *本体は水、熱のかからない場所に固定してください。
 - *作動確認用のブザーが本体ユニット内に装備されていますので、なるべく運転者に近い場所に固定してください。

※【TRC003Pの場合】

商品名が「TRC003P-000」のタイプのみ別途+12V電源を入力する必要があります。
その他のタイプはコントローラーカプラーの赤線に+12V配線をする必要はありません。
（その他のタイプには電源接続用延長ハーネス（赤）は同梱しておりません）

*念のため使用しない本体ユニットのギボシ端子にテーピング等の絶縁処理を施してください。

*「TRC003P-000」のタイプに+12V電源を入力する場合は「常時+12V」もしくは「IGN-ON+12V」となる場所に接続してください。

【常時+12V】⇒ バッテリーターミナル（+）、ヒューズBOX等

【IGN-ON+12V】⇒ キースイッチをONにした時12V以上になる配線（クランキング時も12V以上かかること）
「ACCで+12V」となる場所に接続した場合には「No PWR」という表示になり正常に作動しない場合があります。
エンジンを始動させた時に「No PWR」という表示が出る場合は+12V電源の接続位置違い、もしくは接触不良をおこしている可能性があります。赤線を確実な位置へ配線し直してください。

*エンジン停止時より数分間、この表示が残る車両がありますが異常ではありません。

*車両側への接続には付属のサプライス、もしくは市販のヒューズタイプの電源取り出しをご使用ください。

(5) 初期設定／初めて車両に装着、もしくは装着車両を変更する場合

作業終了後、下記要領にて本製品を使用する前に必ず初期設定をおこなってください。

注意！ 初期設定は絶対にエンジンを始動させていない状態でおこなってください。

初期設定を行わない状態で本製品を使用した場合、車両ECUがエラー認識をしてしまう場合があります。
必ず正確な操作にて初期設定をおこなってください。

①POWERボタンを押し続けた状態でIGキーをONにしてください。

*デモンストレーション後、今までのデータがリセットされ【ERROR】表示となります。

・モニター表示 ⇒ 【ERROR】



②そのままPOWERボタンを押した状態にすると、表示が【SET】に変わります。

この状態になったらPOWERボタンを押すのを止め、③の作業をおこなってください。

・モニター表示 ⇒ 【SET】



③表示が【SET】になってから15秒以内にアクセル操作で、アクセル全開と全開を2回以上繰り返してください。

*この操作で、アクセル信号の0～100%の電圧値が入力されます。

*アクセルペダルを踏み損じた可能性のある場合は表示が【ERROR】となります

この場合②、③の操作をやり直してください。

④15秒間の初期設定モードが終わると、表示が【M i l d 1】になります。

・モニター表示 ⇒ 【M i l d 1】



注意！ 初期設定がきちんと認識されない場合は【ERROR】の表示になります。

この状態の場合は再度初期設定をおこなってください。

※動作確認

①ギヤがPもしくはニュートラル状態であることを確認し、エンジンを始動させてください。

②本製品のPOWERスイッチを【NORMAL】にしてください。

③エンジン回転を2500～3000rpmにて一定に保ってください。

④上記状態にて本製品のPOWERスイッチをONにして【M i l d #】モードにしてください。

→この時にエンジン回転数が100rpm～以上 上昇、もしくはスロットルオープンゲージのOUT側がIN側に比べて増幅されていれば本製品は正常に作動しています。

→エンジントール等の異常が発生する場合は、配線～初期設定の作業を再度見直してください。

(6) モード説明

ECO 3 ~ 1

純正よりも緩やかな出力曲線を描く、燃費重視のセッティングです。

3モードの選択によりエコランを実現します。

制御状態により「ECO」マークが点灯し、ECODライブを支援します。

発進特性が急激な車にも有効で、急発進を抑える効果が望めます。



Mild 1 ~ 4

最も乗り易く、走り易いバランスに優れた仕様です。

段つきのないスムーズな加速を目指した通常走行向きのノーマル+αのセッティングです。

4モードの選択によりきめ細かなコントロールが選択できストレスのない良質な加速感をご堪能いただけます。



SPORT 1 ~ 3

最も過激でアクセルレスポンスの向上に特化したモードです。

3モードの選択により純正のような緩慢な反応ではなく、入力に対してリニアな加速を実現します。

常にキビキビとした特性を維持したい方向いています。



AUTO 1 ~ 2

7段階の設定比率をアクセルとブレーキの操作状態から判断し、常に最適な制御を可能としたモードです。

純正センサーの信号を学習しアクセル開度の比率を自動でコントロールします。

車両のキャラクターや走行条件により選択できる2モードをご用意しました。



NORMAL

POWERボタンひとつでいつでもノーマル状態に戻すことができます。

リバースキャンセルハーネスを接続させない場合でもノーマル状態にすることで車庫入れなどが困難な場合等に制御をOFFにすることが可能です。



SCRAMBLE

通常セットしたモードに関係なく、30秒間、最大比率で作動させるモードです。

作動中は「SCR」マークが点灯し、作動音と共にカウントダウン表示となります。

(別売の専用スイッチが必要となります)



*スロットルオープンゲージについて

モード起動中にはつねに開度比率がスロットルオープンゲージにリニア表示されます。

「IN」が制御前の開度比率、「OUT」が本製品が制御を行った後の開度比率を表します。

(表示はあくまで目安となります)

またモード起動中にPOWERボタンでNORMALモードにすると、POWERボタンを押す直前のスロットル開度がスロットルオープンゲージに固定表示されます。

(6) モード説明

◎オートモードについて

* 走行状態により7段階の比率を、マイコン制御により自動的に選択します。

渋滞時から高速走行時まで、さまざまなシチュエーションにおいて常に最適なモードを、この「THROTTLE CONTROLLER FULL AUTO PRO」が自動判別し快適な制御をおこないます。

他のモードからAUTOモードに変更した場合は常に3段階目の「MAP 3」からスタートとなります。

【AUTO 1】

「MAP 1」が低比率。加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に加速していきます。

低速時や後退時の急激な挙動を抑え、いちいち切り替える必要もなく、快適でスムーズなドライブが可能です。

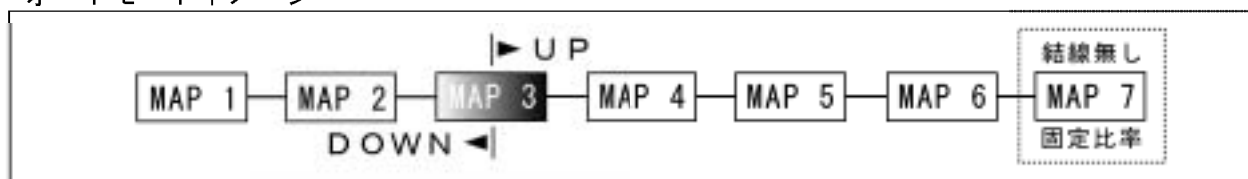
【AUTO 2】

「MAP 1」が高比率。加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に比率がダウンしていきます。

車速が乗った状態や、あまりパワーを必要としない領域での無駄なアクセル操作を抑制することで燃費の向上も望めます。

比較的にパワーのある大排気量車に最適です。

・オートモードイメージ



※AUTOモード中はブレーキ操作も判別しているため、ブレーキ操作により段階が変化します。

この時にモニターのAUTO表示が点滅しますので、段階が変化した時の目安になります。

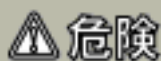
・比率DOWN方向 ⇒ 2回点滅

・比率UP方向 ⇒ 1回点滅

※ブレーキ配線接続をせずにAUTOモードにした場合は、「MAP 7」まで徐々に変化しそこで固定となります。

◎スクランブルモードについて

* 別売のスクランブルスイッチ (Code No : 14878) を装着することにより、30秒間、最大比率よりさらに高い比率で作動させることが可能です。◆ Code No : 14878 スクランブルスイッチ ¥2,625 (税込み)



危険

スクランブルモードは作動比率を瞬時に大きくする機能です。走行場所、状況によっては危険を伴う場合がありますので、走行中のご使用は絶対にお止め下さい。また本製品概要をご理解いただいていないご本人以外の方のご使用も絶対にお止め下さい。

◎スタートモードの選択について

* I G-ONにした時、通常は【M i l d 1】より開始しますが、開始時のモードを任意に設定することが可能です。

① キースイッチをONにし、UP・DOWNボタンにて開始させたいモードに設定します。

② この状態でPOWERボタンとUPボタンを同時に3秒以上、長押しします。(ブザー音にて設定終了)

※ ボタンを同時に押した際の微妙なタイミングズレにより【NORMAL】モードになってしまう場合がありますが、メモリー機能は正常に作動していますのでそのまま押し続けて下さい。

この場合、設定が終わりましたらPOWERボタンを再度押しいただくことで、もとのモードに復帰します。

※ 初期設定を再度おこなった場合はこの設定も再度設定して下さい。

◎リバースキャンセルモードについて

* 別売のリバースキャンセルハーネス (Code No : 14879) を装着することにより、リバース時に本製品作動を自動的にキャンセルすることが可能となります。

困難な車庫入れ等の場合でも、自動的にノーマル制御となりますので、より便利で安全です。

この際のモニター表示は【R】となります。

・モニター表示 ⇒ 【R】



◆ Code No : 14879 リバースキャンセルハーネス ¥2,100 (税込み)

(6) モード説明

◎ ON/OFF 設定について

* 本製品出荷時はセーフティー機能の一環として、使用中に I G-OFF にした場合、必ずノーマルモードになるように設定されています。例えばいずれかのモードで走行後、I G-OFF にした後に再度エンジンをかけた場合にはオープニング後に【NORMAL】と表示され、モードはノーマルモード（純正状態）となっています。
これを任意で常時【M i d 1】（前述の「開始モードの選択」でモード設定された場合はそのモード）で起動させることができます。

① キースイッチを ON にします。

② この状態で POWER ボタンと DOWN ボタンを同時に 5 秒以上、長押しします。（ブザー音にて設定終了）
この際のモニター表示は【ON ST】となります。

・ モニター表示 ⇒ 【ON ST】



③ 再度②を行うと【OFF ST】となり、以降は操作を行うたびに設定が入れ替わります。

・ モニター表示 ⇒ 【OFF ST】

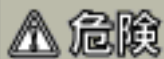


④ 設定が終わりましたら POWER ボタンを再度押していただくことで、もとのモードに復帰します。

※ ボタンを同時に押した際の微妙なタイミングズレにより、起動中は【NORMAL】モードに、【NORMAL】モード中にはモード起動になってしまう場合がありますが、設定動作は正常に作動していますのでそのまま押し続けてください。

この場合、設定が終わりましたら POWER ボタンを再度押していただくことで、もとのモードに復帰します。

※ ON/OFF 設定の変更をおこなった場合は必ずスタートモードの設定も再設定してください。



危険

ON/OFF 設定は本製品概要をご理解いただいていないご本人以外の方が使用することは非常に危険です。ご本人以外が運転する場合は必ず OFF スタートに設定してください。

(7) トラブルシューティング



警告

フェールセーフモードに入りエンジンが吹け上がらない状態になった場合は非常に危険です。
速やかに車両を安全な場所に停車しエンジンを停止し 5 分ほど経ってから再度エンジンを始動させてください。

【アイドリング不調】

※ 初期設定不良の可能性があります。初期設定を再度おこなってください。

※ 取り付け作業時にバッテリーを外した場合はアイドリング学習が必要な場合があります。

販売店もしくはカーディーラーへご相談願います。

【エンジン OFF でもしばらく表示が消えない】

※ エンジンを切っても暫くはコントローラーの表示が消えない場合がありますが、センサーへ微量な電流が流れているためで異常ではありません。

15 分以上表示が消灯しない場合はお手数ですが販売店もしくは弊社サポートセンターまでご連絡ください。

モニター表示はモードを示す表示、もしくは【No PWR】として残ります。

※ 一部車種ではドアロック解除などのアクションで、表示が点灯する場合がありますが異常ではありません。

【エンジンチェックランプ点灯、エンジン不調】

※ コネクターの接触不良、配線間違い、コネクタ挿入方向の間違いなどご確認ください。

※ +12V を ACC から取っている、もしくは電圧降下で +12V かかっていない。→ 取り出し方法と場所を変更してください。

※ エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のコネクタがあります。

エンジンルーム内のコネクタに接続した場合、正常に動作しません。車内のアクセルセンサーのコネクタへ接続してください。

（TRCO01P-BF2 はエンジンルーム接続ですのでこの限りではありません。）

※ 装着車両を変更した時は必ずリセット設定、初期設定をおこなってください。

【作業中のミスなどでエンジンチェックランプ点灯】

※ キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に作業をおこなっている可能性があります。15 分以上待って作業してください。

※ コネクタを逆挿ししている可能性がありますので再度ご確認ください。

※ ディーラー等専用の故障診断機のある工場にてチェックランプ及びダイアグの履歴を消去してください。

※ スズキ車の一部などはバッテリー端子を 30 秒ほど外す事でチェックランプを消す事ができる車両もあります。

※ 正常な状態で走行し、エンジンの停止を数回行うと自動的に消灯する場合がありますが、ダイアグの履歴は残っています。

(8) 走行する前に再度お読みください。

※AT車の場合には高速走行中にキックダウンしにくい、もしくはシフトポイントが変わる場合があります。

これはアクセルを踏んでない状況でも擬似的に踏んでいる状態をつくっているためです。

故障ではありませんのでご了承ください。

※ターボチャージャーなどの過給機付き車両の場合、ブースト特性が変わります。

特にブーストアップやタービンの変更などを行っている場合は、ブーストの再調整が必要になる場合があります。

※POWERボタンの長押しは初期設定モードとなりますので、走行中には絶対にこの動作を行わないでください。

誤って操作してしまった場合でもセーフティ回路により走行は可能ですが、その際は安全な場所に車両を停車させ再度初期設定を行ってください。

※キーをOFFにしてもコントローラーの表示がしばらく残る車両がありますが異常ではありません。

この表示が残っている状態でイグニッションキーを再度ONにした場合は

①「ON/OFF設定」をOFFにしても、モードがONのままイグニッションキーをOFFにした場合は、そのまま表示されているモードでスタートとなります。

②TRC003Pのタイプはモード表示が「NO PWR」として残る場合があります。

■製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社 ブリッツ サポートセンター
所在地	〒446-0053 愛知県安城市高棚町大道40-1
TEL	0566-79-2200
FAX	0566-79-2070
URL	http://www.blitz.co.jp

■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒446-0053 愛知県安城市高棚町大道40-1
取扱説明書番号	1470001
初版作製年月日	2009年12月11日